

小田原市地域経済振興戦略ビジョン（素案）に対する民間セクターからの意見等とその反映（案）について

NO	団体名等	ページ	素案の項目・内容	意見・提案等（原文のまま）	反映（案）
1	小田原蒲鉾協同組合	—	—	●都市デザインを明確にしたい 色彩規制や高さ規制のような「最低限の守るべきルール」を規定するだけでなく、街のエリア毎の機能の在り方、建物のデザイン概念を明確にした都市デザインをはっきり打ち出していくべきではないか。市街の在り方は小田原のアイデンティティを表現するために非常に重要である。	【反映しない】 都市デザインなどのあり方やまちづくりについては、基本的には、上位計画で総合計画（おだわらTRYプラン）や都市計画マスタープランの中でその方向性を定められていることから、地域経済の経営理念を定める本ビジョンにおいて詳細は言及しません。ただし、市としては検討すべきことであるため、上記計画の改訂作業の中で、対応を検討します。
2	小田原蒲鉾協同組合	—	—	●空き店舗、空き家の活用 空き店舗や空き家を使って、賑わいを増やしていくプロジェクトを推進したい。	【具体的取組みとして検討】 地域経済の経営理念を定める本ビジョンは、指針として、具体的な取組みの枠組みまでを示すこととしていることから、具体的な取組みそのものは、本ビジョンに基づいた今後の検討の中で生み出していくこととなります。
3	小田原蒲鉾協同組合	—	—	●老舗の集約や子店舗出店 古くから営んでいる老舗が小田原には沢山あるが、今やシャッター街の中に一人頑張っているような状態の店が少なくない。これらの店舗を、あるエリアに集約移転するか、子店舗のあるエリアに集中出店してもらおう施策が考えられる。	【今後の施策として検討】 民間所有者等の土地利用のあり方も含むことから、基本方針に基づくアプローチの1つである「事業環境の整備」（P.22）の中で、中長期的に検討します。
4	小田原蒲鉾協同組合	—	—	●自然エネルギーや資源循環を目玉に 森里海が連関している小田原だからこそその自然エネルギー活用や資源循環は、これからの時代、その取り組み自体が売り物になる。	【趣旨を反映】 基本方針に基づくアプローチの1つである「産業の集積と企業等の拡大」（P.22）の中で、新たな産業の創出として、再生可能エネルギー関連の産業についてもイメージしています。
5	小田原蒲鉾協同組合	—	—	●数日間の滞在プログラム 都市圏からの行楽客は日帰りか1泊がほとんどである。そうではなく、3日ほど滞在をしてリフレッシュできるスタイルを創造し定着させる工夫がほしい。例えば、人間ドック、温泉、グルメ、体験学習を組み合わせた癒しの小旅行とか。	【具体的取組みとして検討】 地域経済の経営理念を定める本ビジョンは、指針として、具体的な取組みの枠組みまでを示すこととしていることから、具体的な取組みそのものは、本ビジョンに基づいた今後の検討の中で生み出していくこととなります。
6	小田原蒲鉾協同組合	—	—	●都内の会社の会議プログラム 朝東京を出て、日中社内会議、夕方から小田原の海の幸を食してから帰るといった気分一新できるプログラムを市内の施設が協同して誘客するか。	【具体的取組みとして検討】 地域経済の経営理念を定める本ビジョンは、指針として、具体的な取組みの枠組みまでを示すこととしていることから、具体的な取組みそのものは、本ビジョンに基づいた今後の検討の中で生み出していくこととなります。

NO	団体名等	ページ	素案の項目・内容	意見・提案等（原文のまま）	反映（案）
7	小田原蒲鉾協同組合	—	—	●金融機関に融資プログラムを 融資が鈍く預課率が悪化している信金など地域の金融機関には、安全な融資なら積極的に行いたいニーズがある。商店街の活性化や省エネ設備導入など、独自のプログラムを開発して、商工業者が積極的な投資をする環境を作り出したい。	【既存・類似制度あり】 現在の信用保証制度等を踏まえると、100%の代位弁済が保証される安全な融資制度を創設することは不可能です。一方で、現在、市には、中小企業者を対象に運転資金、設備資金の融資を行う中小企業小口資金融資という制度があります。また、平成4年度には、商店街共同施設設置資金融資という制度を設けましたが、平成21年度まで利用がなく、現在は休止としています。
8	小田原蒲鉾協同組合	—	—	●人の醸成 素案には、それぞれの課題を動かしていく「人」をどう醸成するのかの視点が足りない。	【趣旨を反映】 今後の推進体制（P.25）においては、具体的取組みの検討、実施だけでなく、そのための人材育成も視野に入れています。
9	（社）湘南建設業協会青年部会 ※構成事業者	—	—	農業については、担い手や、どうやったら農家が儲かるかの仕組みや放棄地が利用可能かの確認と、その利用方法が重要ではないかと思いました。放棄地については、たとえば、ソーラーや、風力発電の設置場所として利用したり、誰かに畑として貸すなど。	【具体的取組みとして検討】 地域経済の経営理念を定める本ビジョンは、指針として、具体的な取組みの枠組みまでを示すこととしていることから、具体的取組みそのものは、本ビジョンに基づいた今後の検討の中で生み出していくこととなります。
10	（社）湘南建設業協会青年部会 ※構成事業者	—	—	林業については、市内のヒノキ・スギをどのようにしたら利用するのかが課題ではないかと思いました。小田原産の木材がたくさん出回るようになれば、自然と間伐等をおこなっていくのではないのでしょうか。このままでは、花粉症の被害者が増えるばかりではないかと。	【具体的取組みとして検討】 地域経済の経営理念を定める本ビジョンは、指針として、具体的な取組みの枠組みまでを示すこととしていることから、具体的取組みそのものは、本ビジョンに基づいた今後の検討の中で生み出していくこととなります。
11	（社）湘南建設業協会青年部会 ※構成事業者	—	—	商業については、小田原駅周辺の中心市街地と、大型商業施設を中心とする川東地域の格差が課題と読みました。 小田原地下街の改修で、どの程度巻き返せるか。そもそも、電車で買い物に来る客より、車等で買い物に来る客の方が多いため、無断駐車のリスクはありますが、小田原の商店街中心に、無料駐車場が出来れば大きく変わると思います。 また、川東地域には、大型電気店やホームセンターがあるため、買い物に便利なので、例えば、藤沢駅のようにヨドバシカメラ等の大型電気店を誘致したり、せっきゃく小田原商店街が幅広くあるので、店に、改修による統一性や、店舗の連続性をもたせて、大型ショッピングモールのように機能させるなどするのはいかがでしょうか。 小田原駅周辺の中心市街地と、大型商業施設は、市内のライバルとして、向上しあうと良いと思います。	【今後の施策として検討】 民間所有者等の土地利用のあり方等も含むことから、基本方針に基づくアプローチの1つである「事業環境の整備」（P.22）の中で、中長期的に検討します。

NO	団体名等	ページ	素案の項目・内容	意見・提案等（原文のまま）	反映（案）
12	（社）湘南建設業協会青年部会 ※構成事業者	－	－	工業については、中型、大型企業の誘致を進めるのが課題だと読み取れるので、撤退した企業が、なぜ撤退したのかが問題でしょう。	【対応不可能】 ※意見、提案ではない
13	（社）湘南建設業協会青年部会 ※構成事業者	－	－	小田原は、城を持っているため、観光客相手を主にすれば、商店街は周辺住民の方にとっては使いにくくなるかもしれないし、かといって、周辺住民の買い物の利便性を重視すれば、観光客が雰囲気を楽しめなくなる可能性があるのが難しいですね。	【対応不可能】 ※意見、提案ではない